

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Curettage-electrodesiccation treatment of basal cell carcinoma	
	論文の日本語タイトル	基底細胞癌に対する搔爬・電気凝固治療	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	BCCCQ14-8	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (IV)	
	Pubmed ID	848972	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Arch Dermatol	
	雑誌 ID		
	巻	113	
	号	4	
	ページ	439-43	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1977	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Kopf AW	
その他著者 1		Bart RS	
その他著者 2		Schrager D	
その他著者 3		Lazar M	
その他著者 4		Popkin GL	

一次研究の 8 項目	目的	基底細胞癌に対する搔爬・電気凝固治療	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究	
	セッティング		
	対象者	Group A 597 病変（1958～1962 年に Skin&Cancer Unit で治療された例） Group B 91 病変（1970 年 同施設で治療された） Group C 210 病変（1962～1973 年に開業医で治療された症例）	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （3）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 13 ）	
	介入（要因曝露）		
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	局所制御率	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	2	予後因子	1.主要 2.副次 3.その他（ 2 ）
	3	整容性	1.主要 2.副次 3.その他（ 2 ）
	4	有害事象	1.主要 2.副次 3.その他（ 2 ）
	5		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	6		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	5 年再発率は Group A 18.8%, Group B 9.6%, Group C 5.7% すべてのグループで鼻、鼻周囲、前額で高い再発率であった。 搔爬・電気凝固治療による副次的作用は軽度の肥厚性瘢痕のみであった。整容的な問題も時間経過とともに改善した。	
	結論	搔爬・電気凝固治療は BCC の治療に有用であり、経験豊富な医師によって行われた場合は全体の治癒率も 90%以上であった。整容的にも満足な結果が得られ、ほとんど副次的作用も認めなかった。	
	備考		
レビューワーコメント	レビューワー氏名	神谷秀喜	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ IV ） 多数症例の解析と副次的作用の調査	